

発足1周年記念集会 澤地久枝さんが講演

戦争放棄は世界の理想



宮崎市民文化ホールで講演した
澤地さん

9条集会で澤地久枝さん講演で訴え

憲法改正に反対する「みやざき九条の会」の集会が22日、宮崎市文化ホールであり、市民約1000人が参加した。全国で運動を呼びかけている小説家の澤地久枝さん(75)が講演で「9条の『戦争放棄』の文章は世界に誇る理想の言葉だ」と訴えた。

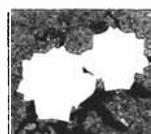
【中尾祐児】

九条の会は04年6月、改憲の動きに反対するノーベル賞作家の大江健三郎さんが呼びかけて発足。その後、県内でも賛同する会が組織され、今回、結成1周年記念集会として講師に澤地さんを招いた。澤地さんは著書「妻たちの二・二六事件」など戦争と平和をテーマにしたノンフィクション作品で有名。講演では、太平洋戦争の激戦地のニューギニア島を訪れた取材体験などを語り、「むごたらしい戦争を行ふことを望む人はいない。喜ぶ人は、一部の政治家や経済人ら極めてまれな人たちだ」と主張した。

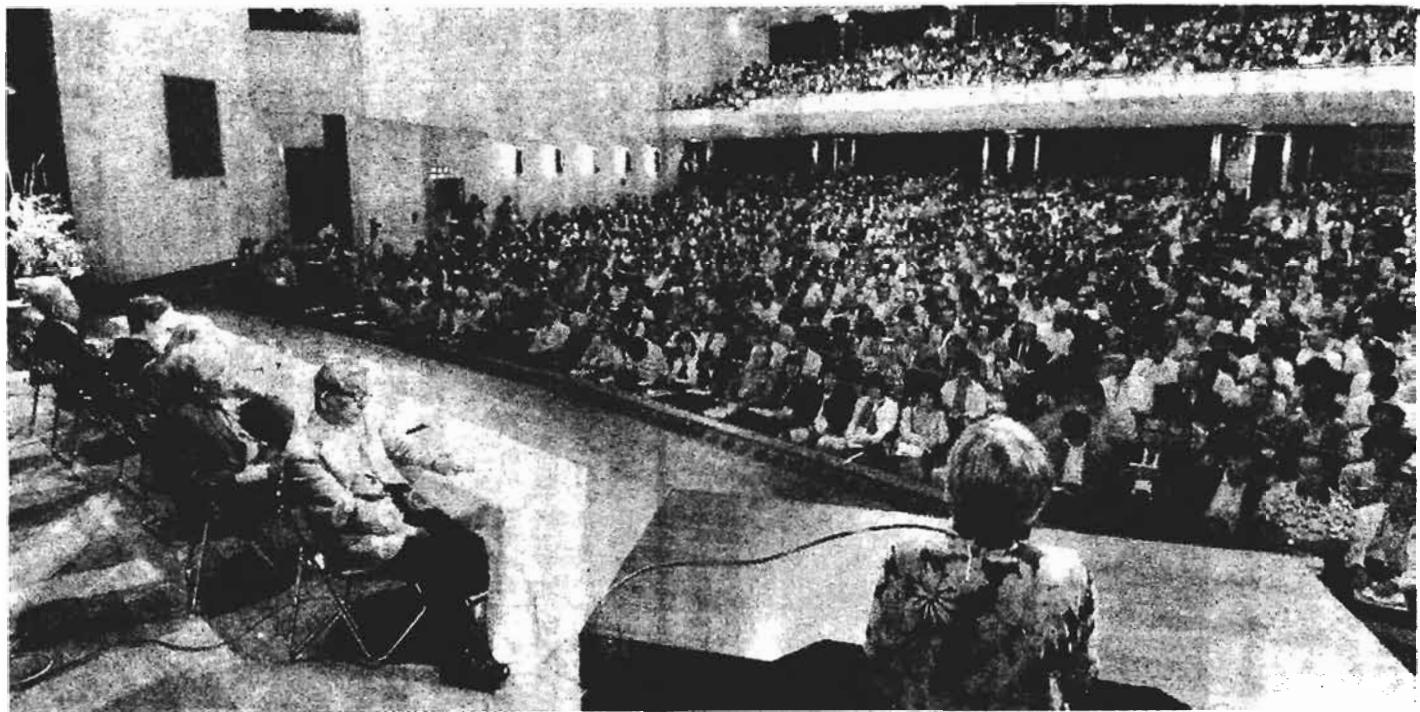
澤地さんは著書「妻たちの二・二六事件」など戦争と平和をテーマにしたノンフィクション作品で有名。講演では、太平洋戦争の激戦地のニューギニア島を訪れた取材体験などを語り、「むごたらしい戦争を行ふことを望む人はいない。喜ぶ人は、一部の政治家や経済人ら極めてまれな人たちだ」と主張した。

澤地さんは著書「妻たちの二・二六事件」など戦争と平和をテーマにしたノンフィクション作品で有名。講演では、太平洋戦争の激戦地のニューギニア島を訪れた取材体験などを語り、「むごたらしい戦争を行ふことを望む人はいない。喜ぶ人は、一部の政治家や経済人ら極めてまれな人たちだ」と主張した。

みやざき九条の会は4月22日、宮崎市民文化ホールで、発足1周年記念集会を開催しました。内容は、九条の会呼びかけ人である澤地久枝さんの講演と、宮崎在住のソプラノ歌手である黒岩千重子さんの歌。当日は雨天にもかかわらず、延岡・日向・都城からはマイクロバスを借りて来るなど、約1000人が集まりました。参加者は、澤地さんの話や黒岩さんの歌に熱心に聞き入っていました。この集会チケットの売上は1101枚で(6月5日現在)、当日のカンパ収入が199,826円ありました。県内各九条の会の方々には、宣伝やチケットの販売、当日の裏方など、多大なるご協力をいただきました。また、出演者の方々や、吊看板や舞台上の花の準備、会の模様をビデオ撮影して下さった方々には、ほとんどボランティアでご協力いただきました。この場を借りまして、ご協力いただいた皆さんに、心よりお礼申し上げます。なお、会の詳細については新聞報道をご覧下さい。(木下 統)



九条の会 全国交流集会 全国から 1500 が集う



九条の会として初の全国交流集会が 6 月 10 日、東京の日本青年館で開催されました。全国各地にある 900 以上の九条の会から 1500 人を越える人が集まり、本会からは 3 名が参加しました。

午前中は全体会として、九条の会の三木睦子、鶴見俊輔、澤地久枝、加藤周一、小田実、大江健三郎の各氏が挨拶。加藤氏は「九条の会は上り坂、どんどん上ろう」と、今後も活動を広げていくことを呼びかけました。

午後は 11 の分散会に分かれて活動を交流。地域の著名人に活動への参加を呼びかけたことや、若者が中心になってイベントを成功させたことなど、豊かな経験が活き活きと語られ、参加者は皆、元気をもらっていました。

九条の会からは、全国数ヶ所で九条の会セミナーを開催することや、来年も全国交流集会を開催することが発表されました。

(木下 統)



活動日誌》

- 1月 26 日 第 11 回例会 映画「日本国憲法」の鑑賞と活動報告
- 2月 18 日 第 12 回例会 県内九条の会交流会、大野勇太さん弾き語り
- 3月 23 日 第 13 回例会 新城敏晴さんの講演『沖縄から九条を考える』
- 4月 22 日 発足 1 周年記念集会（第 14 回例会）
澤地久枝さんとともに考える憲法九条、黒岩千重子さんの歌
- 5月 3 日 ピースウォーク（第 15 回例会）
- 6月 10 日 九条の会全国交流集会

「黒木和雄監督とのお別れの会」 に参加して

成見 正毅

みやざき九条の会の創立総会（2005年1月29日）で記念講演していただいた黒木和雄監督が本年4月12日、脳梗塞のため急逝されました。

私は6月9日東京の日本青年館で行われた「黒木和雄監督とのお別れの会」に出席しましたのでご報告します。

監督は亡くなる数日前の4月7日には昨年完成した新作「紙屋悦子の青春」の試写に元気な姿を見せ、観客との出会いを楽しみにされていたということですが、本当に残念です。

黒木監督の業績は多彩ですが、ここ数年、戦争のむごさを訴える作品に精力的に取り組まれ、「TOMMOROW／明日」「美しい夏キリシマ」「父と暮らせば」の戦争レクイエム3部作を世に出し、昨年、特攻をテーマにした「紙屋悦子の青春」を完成させました。

そして監督自身「映画人九条の会」の呼びかけ人になり、憲法九条を守るべきことを訴えて

積極的に活動されました。

「みやざき九条の会」でも昨年7月12日、「映画と音楽のタベ」として「TOMMOROW／明日」の上映会を行い、盛況でした。

「お別れの会」には400～500人という各界の多数のゆかりの人が集まり、監督の人とのつながりの広さと深さ、業績の大きさを感じました。地元えびの市からも5人参加されました。著名なシナリオ作家や音楽家、それに監督の映画に登場する原田芳雄、長門裕之、宮沢りえ、永瀬正敏ら有名俳優達も見られました。

黒木監督は「「自由」という言葉を墓碑名にしたい、映画人も人生も自由でありたい」と日頃語っておられたそうです。

昨年の創立総会での黒木監督の飾り気のないトツトツとした胸に響くお話が今も思い出されます。大変悲しいことですが、黒木監督の追求された精神を私達の会の活動に活かしていきたいと思います。

なお、新作「紙屋悦子の青春」は8月より一般公開され、宮崎では10月頃「キネマ」館で上映予定です。



「国民投票法案」国会上程 継続審議に！

今年度の通常国会は6月16日に閉会しましたが、会期末も迫った5月26日に自民、公明の政府与党は現憲法制定以来初めて、憲法改正の具体的手続法案を国会上程し、民主党も対案を上程しました。

会期末のため実質的な審理は行われず、継続審議になりましたが、両法案の内容の問題点はもとより憲法9条の存続について新たな厳しい局面を迎えたことは確かであり、今後一層「九条の会」の活動を強めていく必要があります。なおこの通常国会では憲法と直結する「教育基本法改正案」「防衛庁『省』昇格法案」「共謀罪」新設法案が上程され、いずれも継続審議となりました。

「九条の会」が訴えを発表

大江健三朗氏らがつくる「九条の会」は、6月10日の全国交流集会にあたり以下の訴えを発表しました。

- ①「九条の会」アピールに賛同し、思想・信条・政治的立場などの違いを超えた、本当に広範な人々が参加する「会」をつくり、過半数世論を結集しましょう。
- ②大小無数の学習会を開き、日本国憲法9条のすぐれた意義と改憲案の危険な内容を学び、多くの人々の中に広げましょう。
- 「九条の会」としては全国数カ所で「九条の会セミナー」を開催します。
- ③ポスター、署名、意見広告等によるアピール、マスコミ等への手紙・電話・メール運動、地元の政治家や影響力をもつ人々への協力要請など、9条改憲反対のひとりひとりの意志をさまざまな形で表明しながら、「会」の仲間をふやしましょう。
- ④“9条守れ”の世論を大きく広げるため、「会」を全国の市区町村・丁目・学区・職場・学園に網の目のようにつくり、相互のネットワークを強めて情報や経験を交流し、協力あいましょう。その成果を来年の第2回全国交流集会にもちよりましよう。

2006年6月10日

地域の九条の会では

こばやし九条の会

1周年記念の集会を7月7日に開催。

坂東義雄元鹿児島大学教授の講演。

日向・門川九条の会

連続学習会を計画

佐土原では、

澤地久枝さんの講演を聞かれた方たちがよびかけて会の設立の準備が、はじまっています。延岡でも会を作ろうという、計画があります。

「みやざき九条の会」の有志は、宮崎県母親大会「ひ

ろげよう憲法九条」の分科会を担当しました。代表世話人の藤原さんから、お話をいただき参加された方からもいろいろな思いが語られました。



憲法9条の保持を訴えるピースウォーク参加者=3日午後、宮崎市高千穂通 (5月3日)

事務局からのお知らせ

- ★会費が未納になっている方に振込み用紙を入れておりますのでよろしくお願ひします。
- ★澤地久枝さんの講演会のビデオができました。1本800円で販売しています。ご希望の方は事務局までご連絡ください。
- ★周りの出来事、会の状況などお知らせ下さい。(メモでもよろしいです。)

今後の活動予定

7月13日(木)第16回例会 18時30分

宮崎市教育情報研修センター

◎お話を松田幸子さん(弁護士)

四方由美さん(宮崎公立大学助教授)

◎全国交流集会報告

8月19日(土)「アンゼラスの鐘」上映会

宮崎市民プラザ・オルブライトホール

10月30日(月)第17回例会

宮崎市民文化ホール・イベントホール

◎ソロライブ=松元ヒロさん

(コントグループ「ザ・ニュースペーパー」元メンバー)

* 都城10月31日・日向11月1日

映画「NAGASAKI・1945 アンゼラスの鐘」宮崎上映の取り組みが進んでいます！

被爆の長崎を舞台に献身的な治療活動に専念し、その後非核・平和の活動に生涯にわたって貢献された秋月辰一郎氏をモデルにしたアニメーション映画「NAGASAKI・1945 アンゼラスの鐘」の全国上映が進んでいます。宮崎医療生活協同組合は今年生協病院の創立30周年を迎えます。この記念企画に映画会をすることになり、医療生協内に上映実行委員会が結成され、この夏の上映成功をめざして活動に動いています。

7月17日には有原誠治監督を招いて宮崎市民プラザ4F大会議室にて「『平和の塔』の史実を考える会」と共催で招待試写会を行います。

有原監督の来宮は2002年夏の「えっちゃんのせんそう」の宮崎上映以来4年ぶりです。



一般公開は8月19日(土)1日4回、会場=宮崎市民プラザ・オルブライトホール現在前売券を発売中です。

大人1000円、小・中・高校生500円。

◎お問い合わせは

0985(23)7168 (医療生協本部)まで

この映画の上映には「みやざき9条の会」も後援団体になっています。